

# 会長就任のご挨拶

会長 藤原 政嘉



春のうらかな陽気を味わうことなく、梅雨の季節に入りましたが、会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、5月26日に開催されました第5回公益社団法人大阪府栄養士会定時総会におきまして、会員の皆様のご支持のもと、前回に引き続き会長（代表理事）に就任することになりました。身に余る光栄に感じると共に、皆様からのご支援、ご指導に心から感謝申し上げます。これを機に「食と栄養」に関する専門職能団体として、大阪府民の公衆衛生の向上に寄与できるよう一層努力を重ねて参りたいと思います。

本会は公益性を持った事業の運営を基軸としております。その一つ目に府内の管理栄養士・栄養士の資質向上を図り、府民の健康増進、疾病予防のための食生活改善を行い、公衆衛生の向上に資する事業、二つ目に府民に対し、栄養・食生活について直接、個別に相談・指導することにより、府民の健康の維持増進などの公衆衛生の向上に資する事業、三つ目に栄養・食生活に対する知見などを発表する学術研究発表会を実施することで、栄養・食生活に係る専門職種への資質向上と最新の情報の共有化を図り、公衆衛生の向上に資する事業の3本の事業を展開し、府民の皆様へ栄養と食を通してQOLの向上に寄与することを目的としております。

現在、本会が抱えている大きな課題として、一つ目は栄養ケア・ステーション事業の運営です。現在事務局に設置しております栄養ケア・ステーションを大阪府下の津々浦々に拡大し、府民の皆様に見える活動へと展開したいと考えております。これは国の施策の一つにも取り上げられている在宅栄養ケアの充実に向け、多職種協働で地域に密着した栄養士活動の「見える化」を図っていくためです。これらに対応するため、27年度に大阪府から委託を受け、在宅栄養ケアスタッフ研修として約450名を養成し、そのあと本会において更なる高度の資質・技術を担保するためスキルアップ研修会を実施し、何時でも在宅栄養食事指導の要望に対応できるようにしました。また、日本栄養士会が栄養ケア・ステーション認定制度を4月より実施しましたが、種々の認定要件があるため大阪府栄養士会ではできるだけ多くの会員が活躍できるよう登録栄養ケアチーム制度を発足しました。今後、益々在宅栄養管理のニーズが増加すると思われる。会員の皆様も奮って登録栄養ケアチー

ムを立ち上げて欲しいと思います。

二つ目の課題として、会員数の増加に向けての取り組みです。組織はその組織を形成する数により評価される場合が多くあります。特に予算規模も変わり、展開する事業も量・質とも変わります。時々入会することによるメリットを求める人がおられますが、私は会員になれることが最大のメリットとっております。会員になり活動（研修会参加、情報の交換、雑誌の購読、仲間づくり等）すれば、そこにメリットがついてきます。是非、周囲に未入会の管理栄養士・栄養士がおられましたら入会への勧誘をお願いいたします。一人でも多くの仲間をつくり3000名を達成したいと思っております。

三つ目の課題は会員の質的担保を図るための生涯教育です。内容もCE（Continuing Education：生涯教育）から継続的な自己研鑽をめざす生涯職能CPD（Continuous Professional Development：生涯職能開）へ移行し、自らが目標を決め学習し、キャリアを支援するためスキルの到達度に応じた認定制度が設けられております。栄養と食に関する分野の専門職業者である管理栄養士・栄養士は絶えずスキルの向上と情報の共有化を図ることが社会への貢献の基盤となると共に社会からの信用度を得ることになります。会員の皆様も是非、生涯教育を受講され、スキルの持続とアップを図っていただきと思えます。

また、現在第3次食育推進基本計画が実施され、「実践」を中心として運営されています。栄養・食生活のあり方が健康づくりの基盤であることが重要課題であることが示され、我々管理栄養士・栄養士は食育を実践の場において展開する必要があると思われま。

一方、日本栄養士会では「栄養士法の改正と将来構想」についての議論が煮詰まり、理論形成、実体形成、世論形成、政策形成の4つの柱を確固たるものとし、動き出そうとしております。これは、次世代において管理栄養士・栄養士が今以上に活躍するための法のあり方や専門職種としての職業倫理を集大成したものです。この動向については逐一栄養士会雑誌で報告されますので、是非一読ください。

なお、栄養士会は会費を有効活用し、種々の研修会の開催、ホームページや会報での情報の伝達など会員へのサービスに努めておりますが、ホームページの閲覧、会報の購読などしていただき、栄養士会事業へのご意見をいただければ幸いです。全理事が知恵をしばって会員の皆様のニーズに応えられるよう頑張りたいと思えます。

終りにあたり、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念しまして就任の抱負と挨拶とさせていただきます。